



第66期

事業のご報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

HOKUSHIN REPORT



トップメッセージ

就任あいさつ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平成28年6月23日付で代表取締役社長に就任いたしました入野哲朗です。

昭和54年に入社以来、営業、製造、品質管理、海外工場、企画と弊社のさまざまな部門を経験させていただき、お客様や株主の皆様には色々とお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

私は創業者の國分家の教えである弊社の経営基本理念を直接耳にした最後の世代であると思います。「社会の進歩向上に寄与する製品を供給する」「相互信頼に基づく安定した取引を確立する」「社員とその家族の生活の安定向上をはかる」この3点を常に頭に入れ、会社を成長させるべく、また、次世代にこの教えを伝えるべく、頑張りますので、今後とも引き続き暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ISO・環境改善活動について

当社は「環境品質方針」を定め、品質マネジメントシステム（ISO 9001：2008）及び環境マネジメントシステム（ISO 14001：2004）の活動を展開しております。

近年では、社内で発生する木粉の MATERIAL 利用及び解体材等リサイクル木材チップの利用促進を進め、環境負荷低減に努めるとともに、サステナブルな社会作りに貢献しております。

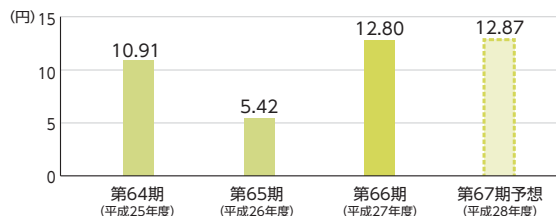
また平成26年には木粉製造設備（右写真）を設置し、社内発生分のみならず、近隣企業やお客様から発生するバイオマスの残材をサーマルリサイクルしており、循環型社会形成の一翼を担っております。

ISO推進室では、ISOの2015年版への移行準備を進めております。既に「リスクと機会」の取り組みや「パフォーマンス重視」の要求事項を活動の一部に取り入れており、「スターウッドラインの生産性が過去最高を記録」（平成28年4月）などの成果が上がっております。

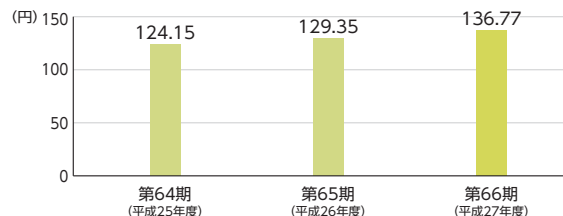


業績指標

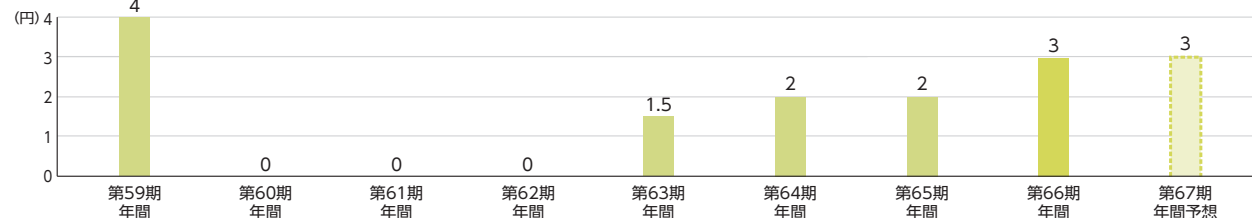
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



配当推移



決算概要

Q.2015年度の業績について聞かせてください。

A.当事業年度における我が国経済は、期初においては円安の進行による輸出産業での採算の改善等により企業収益や設備投資が回復し、更には所得環境の改善や株価上昇が個人消費を押し上げ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら期中より中国をはじめとするアジアなどの新興国の経済成長の減速や資源価格の暴落により、国内においては株価下落や為替の円高への転換があって、業種によっては企業の採算が悪化、日銀のマイナス金利の導入についても、これまでのところ効果は限定的と見られており、先行きの不透明感が増しております。

一方、当社と関連の深い住宅産業につきましても、住宅取得に伴う政府の補助金や減税などの優遇制度及び住宅ローン金利の一層の低下により、平成27年度の新設住宅着工戸数は92万戸となり、前年同期比4.6%の増加となりました。

当該期間の業績につきましては、住宅着工戸数の回復傾向に加え、円安で輸入MDFの供給量が減少したこと等で、主に建材向け製品及びフローアーマテリアル用途向け製品の販売が好調に推移し販売価格も持ち直したことにより、売上高は増加いたしました。生産面においては、堅調な出荷量を背景にした生産量増加による固定費比率の低下と、原材料リサイクルによる歩留り向上を目指した設備の改善や原油価格の下落によるエネルギーコストや石油系原料価格の抑制により、製造原価を低減することができました。なお、輸入商品につきましては円安傾向による仕入価格の上昇を販売価格に転嫁する状況の中で、販売量が減少いたしました。

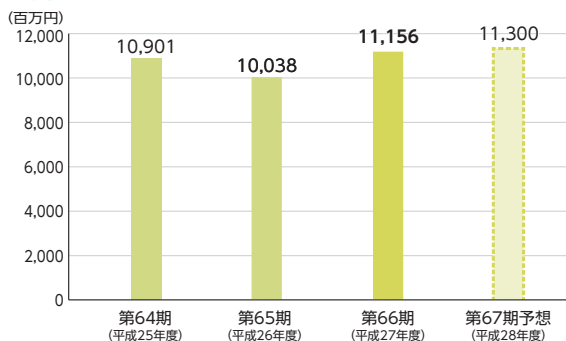
この結果、当事業年度の売上高は111億56百万円と前年同期比11.1%増となりました。このうち、国内製品のスターウッドは、54億9百万円（前年同期比19.8%増）、スターウッドTFBは、37億80百万円（同10.4%増）となりました。一方、商品につきましては、19億55百万円（同4.7%減）となりました。営業利益は3億30百万円（同107.2%増）、経常利益は3億35百万円（同169.7%増）、当期純利益は3億62百万円（同136.1%増）となりました。

内部留保金につきましては、安定的な経営基盤の確保と設備投資などの資金需要に備え、有効に活用してまいります。

平成28年3月期においては、上述の配当方針と当期の業績を勘案し、前期末に比べ1.0円増配し、1株当たり3円の期末配当を実施させていただきます。

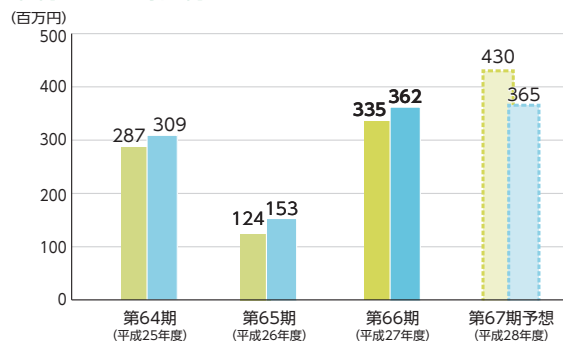
売上高111億56百万円（前年同期比+11.1%）

売上高



**経常利益3億35百万円（同+169.7%）
当期純利益3億62百万円（同+136.1%）**

経常利益／当期純利益



Q.これからの課題について聞かせてください。

A.当社に最も影響を与える住宅着工戸数は、住宅ローンの歴史的な低金利や政府の住宅取得支援策等により、消費税増税による駆け込み需要の反動減から増加に転じ、堅調に推移しております。しかしながら、経済成長率の低位推移や地価及び建築資材費の上昇による住宅取得能力の低下など下振れするリスクがあり、中長期的には少子高齢化の影響等により低迷することが予想されます。

このような環境下、販売面においては、当社の強みである耐水製品を生かしたフロー材や構造用途の拡販を中心に、お客様からご要望の多い環境に配慮した製品の供給を増加し、木質パネル市場の新規用途拡大に努力してまいります。生産面においては、安定稼働を維持しつつ、設備や生産工程の改善による生産性向上、省エネルギー化、マテリアルリサイクル促進による原材料の有効活用を目標として掲げ、環境対応型コストダウンを推し進めてまいります。

また、大建工業株式会社との業務提携により、生産・技術・物流面での協力を推し進め、収益の拡大を目指してまいります。

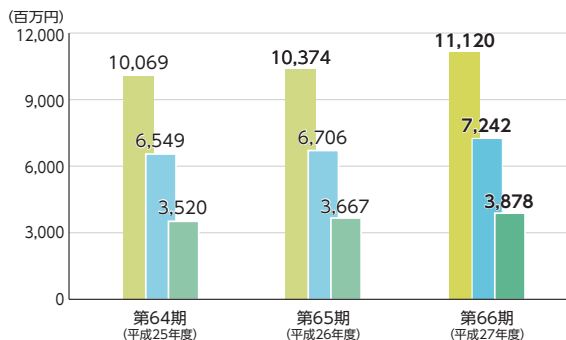
Q.2016年度の見通しについて聞かせてください。

A.次期の見通しにつきましては、政府の各種住宅取得支援策の延長や住宅ローン金利の歴史的な低金利が続くと見られることから、新設住宅着工戸数は堅調に推移するものと予測されます。

当社ではこの様な状況の下で、好調な建材向け製品やフロー材向け製品の販売量を確保し、構造用製品や汎用性製品の拡販にも努めてまいります。生産面につきましては、安定稼働を維持しつつ、生産設備の改善による生産能力や品質面の改善・向上を目指し、コストダウンに注力し、お客様のニーズに 대응してまいります。

以上により、平成29年3月期業績は、売上高113億円、営業利益4億50百万円、経常利益4億30百万円、当期純利益3億65百万円を見込んでおります。

総資産／負債／純資産



製品情報

製品情報

株式会社LIXIL様のベストパートナー賞を受賞

当社のMDF製品（スターウッド）は、その安定した品質と納期対応でお客様から高い評価をいただいております。平成28年4月、当社製品の販売会社であるC&H株式会社は株式会社LIXIL様より重要なサプライヤーとして「ベストパートナー賞」を授与されました。

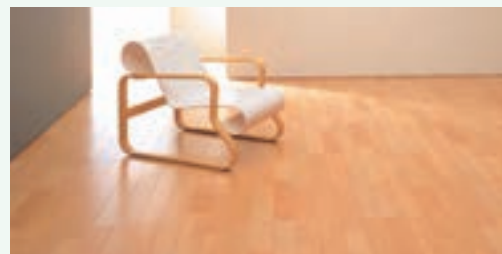


フローリング用途の拡大

スターウッドTFBのフローリング用途への販路が拡大しています。

板面表面が緻密でかつ硬いことに加え、水やフローリングワックスによる膨張が少ない特徴を、お客様からご評価いただいております。

現在、さらに幅広くご使用いただけるように、フローリングワックスによる膨張をもう一段小さくしたフローリング用MDFの開発に取り組んでおります。



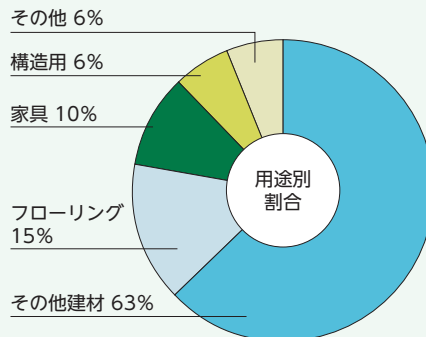
進化する「構造用スターウッド」

「構造用スターウッド」は地球環境に優しいエコ素材であり、耐震性を高める耐力性能や、壁内結露を防ぐ透湿性能が評価され、木造住宅の耐力壁面材として広く採用されております。

国土交通省による**建築基準整備促進事業**において、「木造建築物における壁倍率の仕様の追加に関する検討」として、木造軸組工法及び木造枠組工法での「構造用MDF」の告示化仕様の検討が行われました。その結果が本年4月22日に報告され、得られた知見の範囲で平成28年度に基準の見直しを行う予定と報告されています。

また、住宅の高耐震性が求められることが増えた現在では、本検討において示された構造用MDFを用いた高倍率仕様は、お客様に、より使いやすくご満足いただけることと信じております。

当社の製品・商品はこのような用途にご利用いただいております。



会社の概要と株式の状況 (平成28年3月31日現在)

会社概要

創 立 昭和25年6月21日
 資 本 金 2,343百万円
 本 社 ・ 工 場 〒596-8521
 大阪府岸和田市木材町17番地2
 事 業 MDFの製造及び売買
 主要取引先 株式会社LIXIL
 双日建材株式会社
 大建工業株式会社
 丸紅建材株式会社
 永大産業株式会社
 兼松ケミカル株式会社

役員 (平成28年6月23日現在)

取締役会長 平 良 秀 男
 代表取締役社長 入 野 哲 朗
 代表取締役副社長 西 丸 義 孝
 取締役 古 谷 正 美
 取締役 冬 木 敏 夫
 取締役 小 林 一 行
 取締役 太 田 励 郎
 取締役 村 松 陽 一

- (注) 1. 取締役 冬木敏夫氏は、社外取締役であります。
 2. 取締役 小林一行、太田励、村松陽一郎の3氏は、監査等委員であります。
 3. 取締役 小林一行氏及び太田励氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。

執行役員

執行役員 西 田 文 雄
 執行役員 高 橋 英 明
 執行役員 加 藤 真 彦

販売会社 (C&H株式会社)

東京営業課 〒101-0032
 東京都千代田区岩本町1丁目8-1
 テラサキ第5ビル4階
 大阪営業課 〒541-0057
 大阪市中央区北久宝寺町4丁目2番12号
 本町御堂パークビル7階

株式の状況

発行可能株式総数 99,713,700株

発行済株式の総数 28,353,700株
(自己株式19,305株を除く)

単元株式数 100株

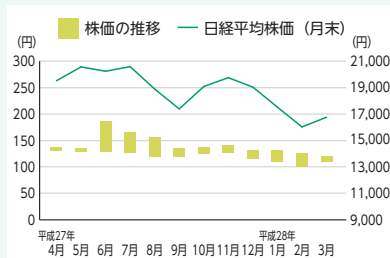
当期末株主数 5,061名
(前期末比42名減)

大株主

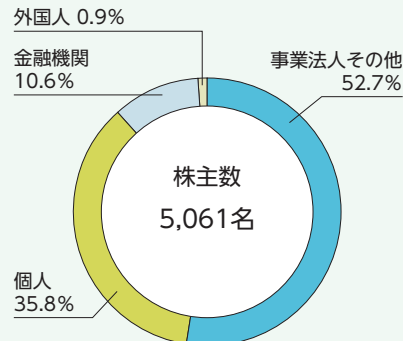
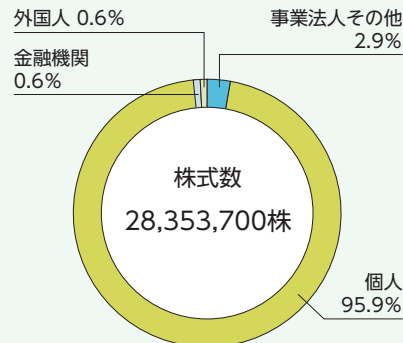
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
兼 松 株 式 会 社	7,522	26.53
大建工業株式会社	4,227	14.90
國 分 哲 夫	1,423	5.02
永大産業株式会社	1,000	3.52
ホクシン取引先持株会	863	3.04
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	516	1.82
株式会社池田泉州銀行	430	1.51
ホクシン従業員持株会	296	1.04
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	267	0.94
西 村 平	216	0.76

(注) 持株比率は、自己株式(19,305株)を控除して計算しております。

株価の推移



所有者別分布表



株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更 	<p>口座を開設されている証券会社</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	<p>株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部</p>

特別口座に記録された株式	
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取請求 ●特別口座から証券会社の口座への振替請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更 	<p>特別口座の 口座管理機関</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	<p>株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部</p>

(お問い合わせ先)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
口座管理機関

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各地支店で行っております。

公告方法 当社の公告はホームページに掲載する。
ホームページアドレス
<http://www.hokushinmdf.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所第1部

「中間事業のご報告」について

株主の皆様には、従来、年2回「事業のご報告」・「中間事業のご報告」と題した冊子をご送付しておりましたが、一昨年度（第65期）より中間期（第2四半期）につきましては冊子を作成せず、当社ホームページに掲載することといたしました。

なお、通期につきましては冊子をご送付申し上げております。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。



環境に配慮して
植物油インキで
印刷しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。